

## 行事報告書(自遊会)

報告者: 花島

作成日 令和6年4月20日

|         |   |
|---------|---|
| 行事名     | 世界のノダフジ鑑賞と野田の歴史を巡る                          |
| 実施日時    | 2024(R6)年 4月16日(火曜日) 10時30分 時~15時30分 天候:晴   |
| 行先・場所   | JR野田・・・ノダフジ鑑賞                               |
| 主旨(行程)  | ななとこまいり→野田城石碑→極楽寺→恵美須神社→円満寺→野田春日神社→下福島公園    |
| 参加者名・人数 | 加藤・一ノ瀬・金山・須崎・沖本・菊池・辻井・今西・石崎・宮川・花島<br>計 11 名 |



沖本さんの案内です

“ななとこまいり”。昔ながらの長屋や迷路の路地に点在するお地蔵さんです  
近隣の地蔵などを7つお参りすると家内安全などの願い事がひとつ叶うとされる

### 極楽寺・野田城跡

戦国時代に天下取りを目論む武将と浄土真宗の門徒による争い(一向一揆)があった場所

### 恵美須神社

ご祭神は、代主大神、天照皇大神、八幡大神です  
西宮神社系か、美保神社系かではなく、恵美須大神だそうです

### 円満寺

円満寺がある旧野田村は本願寺の勢力下にあり、証如が野田村を訪れた際に敵方に狙われ、証如を守るために戦い命を落とした野田村の21人を弔うために建立された



## 野田春日神社(ノダフジ発祥の地)

同神社あたりの旧野田村（同区玉川）に古くから自生し、鎌倉時代には貴族などにも知られていた。風に揺れる優雅な様子から「吉野の桜野田の藤」と呼ばれ、和歌や錦絵にも登場。豊臣秀吉も見物に訪れたという第二次世界大戦などの戦災で何度も焼失し、一時衰退したが、昭和43年から地元住民らが復興活動を開始。フジを植え、棚を整備して約60カ所・140棚にまで増やした。9年前までは手入れが行き届かず、開花しなかったが、ボランティア団体「のだふじの会」（380人）が枝の剪定（せんてい）や鳥よけなどの世話を始め、少しずつ花が咲くようになった。

## 下福島公園

フジの花は7分咲きかな？

手入れが行き届かないと花は咲いてくれない

年々花の咲きが少ない様に思う

ノダフジの見分け方・・・葉11枚以上ある

花の色が上品な紫色

右巻・左巻で判断はしない

花穂が長い

DNA鑑定をする

等々

